岳南朝日

岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代表 (0544)28-0200
FAX (0544)28-0218
編集 (0544)28-0234
営業 (0544)28-0220
月977円　1部60円

MEITOKU
真心が生み出す確かな安心。
明徳建設株式会社
☎(〇五四四)二八-三〇二五

購読申し込み先
●富士宮（0544）
鈴木新聞店 ☎26-3285
中野新聞舗 ☎23-3333
勝亦新聞店 ☎26-1100
SHC南部営業所 ☎26-2543
中西新聞店 ☎28-1133
●吉原（0545）
植草新聞店 ☎52-0370
鈴木新聞店 ☎52-5503
星野新聞堂 ☎52-0376
●富士（0545）
雨森新聞舗 ☎61-5049
田畑新聞店 ☎61-0011
星野新聞堂 ☎61-0275
●鷹岡（0545）
安倍新聞店 ☎71-3327
SHC鷹岡営業所 ☎71-8156
望月新聞店 ☎71-2647
●富士川（0545）
石井新聞店 ☎81-1333
佐野新聞店 ☎85-2093

2019年度

予算の素顔 7

人口減少克服

次に「人口減少克服」を見ていく。

富士宮市の人口は5月1日現在、13万2586人。65歳以上は3万7884人（高齢化率28・6％）となっている。現状のまま推移すると、2060年には約8万6000人、高齢化率35％と予測されている。市は、将来目指すべき方向性と将来人口を推計する「人口ビジョン」を策定（16年1月）し、その実現に向け「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開している。

総合戦略の取り組みを推進することで、「60年に人口規模11万人を維持し、人口構造の若返り」と「合計特殊出生率は40年に2・07、社会増減は均衡」を目指している。

特に若い世代をとどめるためには、「子供を産み、育てやすい環境整備」が必須の条件。市は今年度も「妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援」を目指し、継続して母子保健分野と子育て支援分野の両面からの支援を続けている。

新たに始める「ひとり親家庭等利用料助成事業」（756万円）は、ひとり親家庭等の人を対象に、対象児童1人に対し、1カ月当たりにクラブ利用料の2分の1、上限3000円を助成する。

市内には31の児童クラブがあり、利用料は8000円から1万2000円という。同事業費は県が2分の1を負担することになっている。

ひとり親家庭等 児童クラブ利用に助成

「子どもふれあい広場」オープンへ

2カ所で子供の居場所づくり

子育て環境整備では6月中に、芝川公民館と富士山環境交流プラザに「子どもふれあい広場」をオープンする。「わくわくキッズスペースプロジェクト」として、子供の居場所づくり、学びの場の創出をさらに推進する取り組みで、「芝川子どもふれあい広場」は、芝川公民館の旧図書館を活用し、子供の遊び場および青少年の学習室とするとともに、乳幼児の保護者同士の情報交換ができるように丸テーブルと椅子を設置し、談話スペースを設ける。「南陵子どもふれあい広場」は、富士山環境交流プラザ1階の展示室などを活用し、自然環境の保全を推進する取り組みとして、子供が家族と一緒に環境学習ができるよう子供用の椅子を置き、絵本や図鑑、工作の本、木製玩具などを配置する。

高校生に企業ガイドブック配布

新たに予算化

Uターンを促進する事業では市内の高校1、2年生に配布する「企業ガイドブック作成事業」（450万円）を新たに予算化。高校時代から地元企業の認知度を高め、首都圏などの大学、専門学校などに進学しても、将来はUターン就職を促すための取り組み。現在、階仕様書を作成中で、調用査会社などへの委託を考えているという。継続的に企業ガイダンスも実施し、就業支援にも力を入れていく。

（おわり）

会見を開いた会員とギャラリー参加者

フォト・PVコンテスト開催へ

富士宮高校会議所が発表

まちなかアートギャラリーにも参加

「あなたの思う富士宮の良さ」テーマに

富士宮市内の高校生が連携し地域振興や地方創生、地域ビジネスの手法について実践を通して学ぶ富士宮高校会議所（伊藤竜輝会頭・富岳館高校3年）は25日、同市西町の西町レトロ館で記者会見を開き、フォト・PVコンテストなどの開催などについて発表した。

富士宮のにぎわい創出・活性化に向けて開催する「第3回フォトコンテスト」と「第2回PVコンテスト」のテーマは「あなたの思う富士宮の良さ」。

誰でも応募でき、入賞作品は一般から3点、小・中・高生から1点選ばれ、同会議所が地域活性化活動に使用する。表彰式は7月7日。賞状と5000円分の図書カードがそれぞれ贈られる。今回は海外からの応募も見込み、募集チラシに英語を加え、ホームページに掲載するという。

応募は作品の題名、住所、氏名、電話番号を記して6月28日までにメール（web@fujinomiya-hsc.com）か、郵送（〒418-0056、富士宮市西町16の18）で作品データを送る。

このほか6月28日から7月7日まで同市の商店街などで行われる「第17回ふじのみや・まちなかアートギャラリー」に参加する。

同会議所は同ギャラリーを盛り上げるため「アートギャラリーin西町レトロ館」と題して催しを行う。

期間中、ダウン症候群の画家望月美那さんの作品展が開催されるほか、7月6日午後4時から富士山ご当地アイドル3776の井出ちよのさんのライブ、7日午後3時から「真夏の芸術の集い」と題して、妹尾良華さんと臼井麻意子さんのボサノバライブ（ボサノバギター初心者講座と同時開催）と洋画家の妹尾昭一さんの作品展示会も行われる。

また同会議所で飼育しているニジマスの名前が公募の結果、「マスゴロー」に決まったことも発表された。同会議所ではマスゴローの様子をツイッターなどで発信する。

「ふじのくにCNF研究開発センター」が新設

県富士工業技術支援センター内に

富士市大淵の県富士工業技術支援センター内に、植物由来の新素材・CNF（セルロースナノファイバー）の研究開発拠点「ふじのくにCNF研究開発センター」が新設され、キックオフセミナーが24日、同支援センターで開かれた。県や市、大学、県内外の企業関係者ら約80人が出席して、新たなCNFの研究・開発拠点の開所を祝った。

自動車図書館 ひばり号

▽28日＝北山保育園（9時50分～10時30分）大富士保育園（10時50分～11時30分）内房小学校（10時～10時30分）東小学校（14時15分～16時）柚野小学校（12時40分～13時20分）芝富小学校（14時30分～15時45分）

★第34回 かぐや姫コンテスト★

応募資格　富士・富士宮市内在住・在勤・在学の人または富士・富士宮市出身の学生（高校生を除く）で、18歳以上の女性（平成31年4月1日現在）

一次審査　非公開面接審査 7月7日(日)
ラ・ホール富士にて（決勝審査出場は10人程度を予定）

決勝審査　公開面接審査 7月28日(日)
富士まつり2019のメインステージにてかぐや姫クイーン・かぐや姫を1人ずつ選出

申し込み　6月26日(水)まで（必着）に、応募用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を1枚（本人のみが写り、6ヶ月以内に撮影されたもの）同封して、直接持ち込み・郵送・Eメールにて富士まつり実行委員会事務局へ。または、一般社団法人富士山観光交流ビューローウェブサイトの応募フォームへ

富士の街に笑顔が飛び交う
富士まつり2019
7月28日(日)
会場：ロゼシアター、中央公園、中央公園前青葉通り

★ 市民総おどり ★

とき　7月28日(日)
ところ　中央公園前青葉通り（パレード広場）
申し込み　6月14日(金)まで（必着）に、参加申込書に必要事項を記入し、直接または郵送・ファクス・Eメールで、富士まつり実行委員会事務局へ

【富士まつり実行委員会事務局】
〒417-8601　富士市役所富士山・観光課
☎0545-55-2777　FAX0545-55-2937
Eメール：sy-fujisankankou@div.city.fuji.shizuoka.jp
※応募用紙・参加申込書は、富士山・観光課、各地区まちづくりセンター、新富士駅観光案内所、富士商工会議所にあります。詳しくは、富士市ウェブサイトをごらんください。　http://fujishi.jp